

# 弘法さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

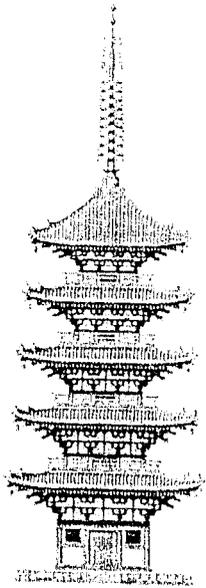
kouhei@oh-kouhei.org

皆さんこんにちは。今月はお釈迦様の誕生月。灌仏会(かんぶつえ)はお釈迦様の誕生日の四月八日は、今月の話題、**八大龍王**とも関係があります。

## ★ 八大(代)龍王は八部衆

参道中ほどに、弘法大師の生誕から入定(六十二歳)までの像が祀られた**歳弘法**があります。その歳弘法の入口に鎮座しているのが**八代龍王のおつげの石**。表側には八代龍王、裏側には**心念の二文字**。黄色い座布団の上に鎮座しているおつげの石に悩みを相談すると、処し方のおつげがあるとされています。

八代龍王は**八大龍王**とも書き、お釈迦様の八つの眷属(**けんぞく**≡**従者**)である**八部衆**のひとつ。八部衆は**インド**古来の異教の神であり、お釈迦様に諭されて仏教を護るようになりました。伝説の火の鳥**迦楼羅(かろう)**、先月号



八代龍王「おつげの石」

でご紹介しました**夜叉(やしや)**、**天(てん)**、**乾闥婆(けんたつば)**、**緊那羅(きんなら)**、**摩睺羅迦(まごろか)**、**阿修羅(あしゅろ)**、**龍(りゅう)**の八つです。

八大龍王はこのうちの龍のこと。難陀(なんだ)、跋難陀(ばつなんだ)、沙伽羅(しゃから)、和修吉(わしゅうきつ)、徳叉伽(とくさか)、阿那婆達羅(あなぼたら)、摩那斯(まなす)、優婆羅(うぱり)の八匹の龍からなる**龍神**です。



★ 神仏一体の雨乞いの神様

龍は水中に住む架空の生物。インドでは**雨を司る大蛇**でしたが、中国、日本では龍となり、**雨を降らせる**ご利益があるとされています。

八大龍王像(画)で有名なのは**大阪李恩寺、奈良法隆寺**、そして弘法大師縁の**和歌山金剛峯寺**。左手に宝珠を盛った鉢を持つ金剛峯寺の**善女龍王(画)**は、弘法大師が雨乞い祈禱した際に現れたと伝えられています。

東海地方で有名なのは**伊勢神宮の鬼門を守る朝熊岳金剛証寺の八大龍王社**。弘法大師が修行のために入山したと言われています。

もともとインドの神であり、仏教の守護神でもあることから、**神仏一体の信仰の対象**となりました。

★ 八大龍王は八岐大蛇？

大蛇、八匹の龍、神様、神宮と聞くと、**八岐大蛇(ヤマタノオロチ)**が思い浮かびます。**素戔嗚尊**、**須佐之男命(スサノオノミコト)**が退治した大蛇が八岐大蛇。その大蛇の尻尾から出てきたのが**天の叢雲の剣(あめのむすぶものこぎ)**。その剣は転じて**三種の神器**のひとつ**草薙の剣(くさなぎのつるぎ)**と呼ばれ、**日本武尊(ヤマトタケル)**、**天(ト)**がご当地、**熱田神宮**に祀りました。八大龍王社を奉じる伊勢神宮に次ぐ格式の熱田神宮に八岐大蛇縁の草薙の剣があることを考えると、八大龍王と八岐大蛇には因縁があるような気がします。

★ 灌仏会と甘露の水

ところで、お釈迦様が生まれた時に、八大龍王が現れて、**甘露の水**を口から注いで釈迦の身を清め、誕生を祝しました。その甘露の水は花びらとなって地上に降り注いだことから、灌仏会のことを**花供(花まつり)**とも言います。灌仏会の今月は、是非、八大龍王をお参りください。



★ 歳弘法の大修復、次回は梵天

さて、八大龍王のおつげの石がある歳弘法。その歳弘法の弘法大師像の傷みが激しくなり、今年から大修復にかかります。歳弘法ではご尊像一体ごとに**修復の施主**となる**奉賛会員**を募集するそうです。新しいご尊像の台座には施主の名前が記され、弘法大師と**同行二人**を体現します。ご関心のある方は、歳弘法で詳細をお尋ねください。来月号は、インドの神様である天部の中の**最高神、梵天**についてお伝えします。梵天は仏教の教えを広めるのに大きな功績を残しました。乞うご期待。